林業普及現地情報
2026-07号（通算566号）
令和８年10月22日
県北広域振興局林務部
記述者　廣田　紀代子

市町村職員等ＱＧＩＳ研修会を開催しました！

１　はじめに

県北広域振興局林務部では、地域の森林整備を担う林業経営体の実践力向上を目的として、森林経営計画作成に関する個別指導などの支援を行っています。

今回、森林情報を活用して事業計画の作成や現地調査を効率的に進めるため、市町村職員及び管内の林業経営体を対象にQGIS研修会を開催しましたので、その概要を紹介します。

２　研修内容

研修会は令和８年９月30日、久慈地区合同庁舎で開催し、市町村、森林組合、林業事業体の職員の12名が参加しました。参加者の多くはQGISの操作が初めてでした。

当日は、森林計画図や法務局地図（公図）、空中写真、CS立体図などが入ったデモファイルを使用して操作を体験していただきました。

研修では、プロジェクトの保存や背景地図の設定、法務局地図（公図）や森林計画図の活用方法、図面の印刷方法などの基本操作を学んだほか、文字や線の色の変更、地番検索、属性テーブルの表示など、便利な機能も紹介しました。



パソコンを持参してQGISの操作を体験

３　参加者の声

研修後の意見交換では、

・「QGISで作成したデータをスマートフォンに取り込み、現地調査に活用したい」

・「公図など複数のデータを重ねて表示でき、とても便利だと分かった」

といった感想が寄せられました。

今回の研修を通じて、QGISが事業箇所の検討や現地調査の事前準備を効率化する有効なツールであることを実感していただくことができました。

また、今後は「補助事業事務の基礎」や「森林環境譲与税の活用方法について、少人数で情報交換できる場がほしい」といった声もあり、林業経営体の皆さんの課題やニーズを把握する機会となりました。

４　今後の取組

今回の研修を契機として、QGISを活用した業務の効率化がさらに進むよう引き続き支援を行います。また、参加者の要望を踏まえた研修の実施を通じて、引き続き、林業経営体の実践力向上に取り組んでいきます。



研修の感想など意見交換の様子